



## 車検通過できず……

富山大学フォーミュラプロジェクト  
TUF  
<http://tuf.main.jp/index.html>



### Presentation プレゼンテーション

マシン名: fusion

前大会は未完成で走行不可能なマシンだったので、今年も同じマシンの搬入となりました。今年こそは車検を通過することが目標でした。しかし、去年の大会から走行可能になったのは今年の3月。しかもそれはとてあえず走行した程度のできていた。車検には到底適合するものではなかったので、大会までに改良していきませんでした。ところがトラブルが続き、さらには提出書類に追われマシンに関する作業が全然行えませんでした。トラブルを挙げればきりがありませんが、主なトラブルはオイルパンの不良、クラッチが切れない事、エンジンが始動しない事など、エンジンに関するトラブルが多かったです。それらのトラブルを克服し、エンジンを搭載したのがシェイクダウン1日前。もちろん完成するはずもなく、シェイクダウンの提出は間に合いませんでした。未完成のまま、シェイクダウンを提出日の夕方終わらせました。シェイクダウン提出後も改良を重ねていきましたが、まだできていない箇所が多く連日徹夜で作業を続けました。カウルに関しては大会1週間前から製作を始めて大会初日に何とかマシンに載りました。やはり、私たちは日程の作成やスケジュールの管理を疎かにしていました。マシンを製作することも重要ですが、これからは余裕のある日程や徹底したスケジュール管理ができなくては、来年のマシンを製作することは不可能ですので、しっかりやっていきたいです。

### Participation report 参戦レポート

今大会は去年達成できなかった動的審査に参加することを目標に努力してきました。しかし、結果は車検を通すことができず、参加は叶いませんでした。初日のデザイン審査では、見やすいタコメータや大きなカウル、手作りのインパクトアッテネータ、ブレの少ないハンドルが評価されました。しかし、工夫した点が書類に書かれていないということが多かったことや、カウルが大きいことから空気抵抗が大きくなるため、空力を考慮して作ることを指摘されました。2日目のコスト審査では、報告書と異なったところや、追加資料を提出していなかったところで、多くの指摘を受けました。粗末な報告書であったため、評価が悪かったです。3日目以降は車検通過に向けて調整を行っていました。車両を車検に出したところ、レギュレーション違反が多くありました。レギュレーション違反はバッテリーと燃料タンクが熱の伝わりやすいところにあること、シートベルトが固定していなかったこと、ボルトナットが規定トルクで締まっていなかったことなどがありました。車検を通すためにこれらの修正を全員で行いましたが、間に合わず車検を通すことができませんでした。今大会の反省はレギュレーションを把握しきれていなかったことや、ボルトナットが的確に締まっていなかったなど、根本的なことが出来ていなかったことが大きな問題であったと思います。私たちはPDCAサイクルのDoまでしかできていなかったため、来年はCheckとActまで達成したいです。



#### 今回の総合結果・部門賞

●総合67位

#### Profile チーム紹介・今までの活動

今回の大会はチームとして2回目のマシン搬入でした。残念ながら車検を通過することができずでした。今年は新入生が多く参加してくれ、メンバーが増えたのですが、このような結果で残念でした。

#### Team-member チームメンバー

久間 一樹 (CP)  
会田 哲夫 (FA)、高田 和幸、竹内 秀太、藤田 紘也、和田 紗矢香、渥美 樹、中島 健太、野村、星野 峻、芦川 実花、高橋 良尚、三川 詩乃、谷津倉 克弥

#### Sponsors スポンサーリスト

石金精機、岡島パイプ製作所、ソリッドワークス・ジャパン、本田技研工業、不二越、F.C.C、FCデザイン、NTN、Tan-ei-sya